

平成 20年 10月 23日

新宿区長

法人名 NPO法人 マ・ミューズ
所在地 新宿区新宿 1-7-10

AK-OFビル 4F

（フリガナ） ナカムラ マミ
代表者氏名 理事長 仲村 真美

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	男性の子育て（孫育て）応援事業
実施日時又は期間	平成20年8月3日（日）、10日（日）、24日（日）
対象者の範囲及び人数	新宿区に在住、在勤の子育て中の男性
事業内容	男性が子育てを楽しむための講座（講習及び実技）
具体的な活動状況	当初6回のコースで講座を企画しましたが、集客不足のため、実施したのは以下の3回です。 8月3日（日曜日）救命救急講座 8月10日（日曜日）バルーンアートと手作りおもちゃ 8月24日（日曜日）防災・防犯対策講座
事業の成果	集客が思わしくなく、8月3日 4名、8月10日 0名、8月24日 2組のみの参加となったため、以降3回分の講座を開催中止にいたしました。

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			49,642 円
	参加費・資料代等	@3,000 円 / 人 × 8 名 = 24,000		24,000 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		420,000 円
	計			
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	63,000 円	講座会場(スタジオ)使用料 利用時間は準備時間前後 30 分を含む。@5,250 円 × 4H × 3 日 = 63,000 円	
	宣伝費	21,582 円	チラシ印刷用紙 10,500 枚 ¥10,770、ラミネートフィルム代 ¥1,890、チラシ印刷代 ¥8,922	
	リース費	5,000 円	プロジェクター ¥3,000 パソコン ¥2,000 (8 月 24 日防災・防犯講座使用分)	
	消耗品費	円		
	謝礼	120,000 円	講師謝金及び違約金	
	人件費	40,000 円	@4,000 × 5 名 × 2 日 PR 体制に要した人件費は別紙参照	
	材料費	3,000 円	バルーン材料費(8 月 10 日バルーンアートと手作りおもちゃ使用分)	
	交通費	2,560 円	交通費 @ ¥320 × 8 (講師打ち合わせ、PR 協力)	
	その他諸経費	円		
助成対象事業費（小計）		255,142 円		
余 剰 金		292,429 円	420,000 - 255,142 ÷ 2 = 292,429	
助成対象外事業費		238,500 円	チラシ街頭配布、ポスティング人件費 218,500 当日従事分 @4,000 × 5 名 × 1 日	
事業総額		493,642 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	男性の子育て協力（参加）の意識は、当初想定していたレベルよりも低く、課題を達成する基礎自体が出来ていなかったと認識しており、事業実施前の啓発活動にとどまってしまいました。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	啓発活動という意味では、講座開催のアピールをすることによって、男性の意識への働きかけはできました。今後はそれを高めていき、講座に足を運んでもらう工夫が必要だと思われます。
新たに気づいた課題は何か。	事業の必要性について、子育て中の女性の理解は十分得られたものの、男性は必要性を感じながらも、参加の意欲が乏しいことを認識しました。
理解者や支援者が広がったか。	特に男性の子育て支援を行っている関係者からは高い評価をいただきましたが、一般的には「男性の育児参加」には根強い反発があることを痛感しました。
事務局の執行体制は十分だったか。	当初の予定以上のマンパワーを投入し、チラシの街頭配布やポスティングを行いました。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	父親の育児参加を促すための取り組みを継続的に行い、男性の子育てに関する意識改革を行う事業が必要であると考えます。
その他	今回は集客不足により、事業を中断せざるを得なくなり、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。